

入選

やさしい店員さんとのあいさつ

福岡県 安武小学校

5年 古賀萌愛

わたしは、家の近くにあるコンビニエンスストアによく買い物へ行きます。

そこには、外国人の店員さんがいます。わたしは、最初は何も言わずにおかしやジュースを買っていました。でも、買い物に行くたびに、店員さんが「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」と笑顔で言ってくれるので、わたしも自然と、「こんにちは」や「ありがとうございます」を言うようになりました。

あるときわたしは、好きなアイスを買うため、レジに持って行きましたが、1円足りませんでした。わたしは別のアイスにしようと思ったのですが、そのとき、外国人の店員さんが自分のポケットから、1円玉を出してくれました。

わたしは、うれしい気持ちになりました。でも、それは、好きなアイスが買えたのがうれしかったわけではなく、店員さんの、やさしさがうれしかったのです。わたしは、この店員さんから、国や文化がちがっても、やさしい気持ちは、どこの国もいっしょなのだということを教わった気がします。わたしも、この店員さんみたいに、だれにでも、やさしく思いやりをもってせつたいと思いました。

今までは、お店に入っても店員さんは、かならずあいさつをしてくれていました。わたしは、それが、当たり前のことだと思っていました。でも、それは、決して当たり前のことではなく、人と人とがつながる最初の1歩だと思います。

みなさんは、きちんとあいさつをしていますか？あんまりあいさつをしていないと思う人は、勇気を持って、朝のあいさつの「おはようございます」や、何かしてもらったときの「ありがとうございます」からでいいので、自分から言ってみましょう。

きっと、みんな気持ちがよくなると思います。わたしは今では、店員さんが、「いらっしゃいませ」と言うと、「いらっしゃいました」とじょうだんを言うくらい、仲良くなることができました。